

問1	織田信長は、領国内の経済を活性化させるために「関所の廃止」を実施しました。この政策と同時に行われた、市場における独占的な特権を持つ「座」を否定し、誰でも自由に商売ができるようにした政策の名称を選んでください。 （2024年 広島県公立入試 類似）			
	1. 刀狩	2. 参勤交代	3. 楽市・楽座	4. 検地
問2	大航海時代において、コロンブスが大西洋を西へ進むことでアジアを目指した背景や理由として、最も適切な説明はどれですか。 （2015年 佐賀県公立入試 類似）			
	1. ヨーロッパで過剰生産されていた毛織物を、アジアの寒冷な地域へ輸出する販路を広げるため。	2. アフリカ大陸南端を経由する東回り航路がすでに他国に独占され、通行が禁止されていたため。	3. 地球球体説に基づき、大西洋を西へ航海すれば東洋のアジアに到達できると考えたため。	4. アメリカ大陸の存在が既に知られており、そこを経由してアジアへ向かうのが最短だと判断したため。
問3	16世紀のヨーロッパで宗教改革が起こった背景と、その後の日本への影響についての説明として正しいものを選択してください。 （2021年 鹿児島県公立入試 類似）			
	1. ルターがキリスト教を否定して新しい宗教を作ったため、行き場を失った旧来の信者が日本へ亡命してきた。	2. 教会の腐敗を正そうとする動きからキリスト教の新教が生まれ、それに対抗した旧教側が布教のため日本へ来航した。	3. アメリカ独立戦争の影響を受けて自由主義の思想が広まり、宣教師が民主主義を伝えるために日本を訪れた。	4. 聖地エルサレムをイスラム勢力から奪還する運動が激化し、その軍資金を得るために日本との南蛮貿易が開始された。
問4	太閤検地がそれまでの土地制度（荘園制）と大きく異なる点について、農民との関わりから述べたものとして正しいものはどれですか。 （2023年 和歌山県公立入試 類似）			
	1. 家族の人数や性別に応じて土地を割り当て、6年ごとに調査を行う仕組みを全国に広めた。	2. 貴族や寺社が所有する荘園の権利を保障し、検地によってその私有地をさらに拡大させた。	3. 土地の売買を完全に自由化し、市場価格に応じた現金を納税させる制度へと移行した。	4. 一つの土地に対して、実際に耕作している農民一人を検地帳に登録し、年貢の負担者とした。
問5	安土桃山時代には、姫路城のような壮大な城郭が築かれ、その内部は金箔をふんだんに使った豪華な障壁画で飾られました。このような、戦国大名や豪商の権力と富を背景とした、豪華で力強い特色を持つ文化を何と呼びますか。 （2024年 茨城県公立入試 類似）			
	1. 化政文化	2. 天平文化	3. 桃山文化	4. 国風文化
問6	鎌倉時代に栄西によってもたらされた禅宗（臨済宗）と、安土桃山時代に行われた天正遣欧使節の派遣について、それぞれの背景や特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 （2016年 山口県公立入試 類似）			
	1. 禅宗は「南無阿弥陀仏」と唱えるだけで救われると説いたため農民に広まり、天正遣欧使節は江戸幕府による鎖国政策を止めるよう交渉するために派遣された。	2. 禅宗は経典の読誦を一切否定したため庶民の間で爆発的に流行し、天正遣欧使節は明との勘合貿易を再開させるための許可を得るために派遣された。	3. 禅宗は加持祈祷によって現世の利益を追求したため公家に好まれ、天正遣欧使節は鉄砲の大量購入と火薬の原料を確保する契約を結ぶために派遣された。	4. 禅宗は厳しい修行を重視したため当時の幕府や武士に受け入れられ、天正遣欧使節は宣教師の勧めにより西洋のキリスト教世界の状況を確認するために派遣された。
問7	織田信長の行動を年代順に並べたとき、1560年の「桶狭間の戦い」よりも後で、1577年の「安土の城下町での楽市令」よりも前の時期に行われた出来事として、正しいものはどれですか。 （2019年 山形県公立入試 類似）			
	1. キリスト教の布教を許可し、南蛮貿易を奨励した。	2. 鉄砲を組織的に利用し、長篠の戦いで武田軍を破った。	3. 明智光秀の謀反により、本能寺で自害した。	4. 将軍の足利義昭を京都から追放し、室町幕府を滅亡させた。
問8	16世紀後半、九州のキリシタン大名である大友宗麟、有馬晴信、大村純忠の3名が、ローマ教皇のもとへ派遣した、4人の少年を中心とする使節団の名称を何といいますか。 （2026年 岐阜県公立入試 類似）			
	1. 慶長遣欧使節	2. 岩倉使節団	3. 天正遣欧使節	4. 朝鮮通信使
問9	豊臣秀吉が1590年に成し遂げた「全国統一」の過程における出来事として、正しい説明はどれか。 （2026年 富山県公立入試 類似）			
	1. 本能寺の変で織田信長を討った明智光秀を山崎の戦いで破った。	2. 鉄砲を組織的に利用して長篠の戦いで武田氏の軍勢を破った。	3. 小田原を本拠地とする北条氏を滅ぼし、全国の諸大名を服従させた。	4. 関ヶ原の戦いで西軍に勝利し、征夷大將軍となって幕府を開いた。
問10	大航海時代におけるポルトガルの活動について述べた文として、内容が正しいものを次のの中から選びなさい。 （2026年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 大西洋を南下して喜望峰を経由するルートにより、アジアとの直接貿易の道を開いた	2. カトリックの布教を最大の目的として、北米大陸の東海岸一帯を広範囲に植民地化した	3. 大西洋を西へ進む航路によってアメリカ大陸に到達し、そこをインドの一部と誤認した	4. 南米大陸の南端を通過して太平洋を横断し、人類史上初めての世界周航を達成した
問11	桃山文化の特色を説明した次の文のうち、当時の社会状況をふまえた記述として最も適切なものはどれか。 （2018年 熊本県公立入試 類似）			
	1. 足利義政が東山に山荘を建てたことに由来し、禅宗の影響を受けて、わび・さびの精神を重んじる簡素な美しさが追求された。	2. 唐風の文化を消化した国風文化が発達し、貴族の住居として寝殿造が流行したほか、かな文字を用いた女流文学がさかんになった。	3. 戦国大名や豪商の豊かな経済力を反映し、城郭の内部を飾る金碧障壁画など、豪華で壮大な作品が多く生み出された。	4. 上方を中心とする都市の町衆が文化の担い手となり、浮世草子や人形浄瑠璃など、庶民の生活を写実的に描く作風が広まった。
問12	1587年、豊臣秀吉は宣教師の国外追放を命じる「バテレン追放令」を出しましたが、その後もしばらくの間、キリスト教の禁止は徹底されませんでした。その理由として最も適切な説明を選んでください。 （2019年 佐賀県公立入試 類似）			
	1. 当時の有力な大名たちの多くがキリスト教を信仰しており、秀吉が彼らの反乱を恐れたため	2. 宣教師が日本国内の寺社を修復し、仏教を保護することを約束したため	3. ポルトガルなどとの南蛮貿易による利益を重視し、貿易船の来航は認めていたため	4. ヨーロッパ諸国との間に、キリスト教の布教を認める正式な外交条約を結んでいなかったため
問13	近畿地方の大坂（現在の大阪府）を拠点として天下統一を成し遂げ、全国の田畑の面積や収穫量を調査する「太閤検地」や、農民から武器を没収する「刀狩」を行った人物は誰か。 （2025年 北海道公立入試 類似）			
	1. 豊臣秀吉	2. 足利義満	3. 徳川家康	4. 織田信長

答え合わせ・解説

問1	答え 3 楽市・楽座	信長は「関所の廃止」によって物理的な流通の壁を取り除くと同時に、制度的な壁であった「座」の特権を廃止する「楽市・楽座」を行いました。これらをセットで実施することで、城下町に多くの商人を呼び込み、経済力を背景にした天下統一の基盤を築きました。
問2	答え 3 地球球体説に基づき、大西洋を西へ航海すれば東洋のアジアに到達できると考えたため。	コロンブスは、当時の天文学者トスカネリなどが提唱していた「地球球体説」を信じていました。当時、ヨーロッパの人々はアメリカ大陸の存在を知らなかったため、大西洋を西へ進み続ければ、当時「ジパング」や「インド」と呼ばれていた豊かなアジアの地にたどり着けると計算し、スペイン女王の支援を受けて航海に出ました。
問3	答え 2 教会の腐敗を正そうとする動きからキリスト教の新教が生まれ、それに対抗した旧教側が布教のため日本へ来航した。	ドイツでのルターによる宗教改革をきっかけに、プロテスタント（新教）が勢力を広げると、危機感を抱いたカトリック（旧教）側は「対抗宗教改革」を行い、教会の内部改革とともに海外への布教に力を入れました。その中心となったのがイエズス会であり、その創立者の一人であるザビエルが日本にキリスト教を伝えました。つまり、日本の戦国時代にキリスト教が伝来した背景には、ヨーロッパにおけるキリスト教界の分裂という国際的な因果関係があります。
問4	答え 4 一つの土地に対して、実際に耕作している農民一人を検地帳に登録し、年貢の負担者とした。	太閤検地では「一地一作人（いっちいつさくにん）」の原則が導入されました。中世の荘園制では一つの土地に複数の権利者が重なっていましたが、検地帳に実際の耕作者を直接登録することで、農民の耕作権を認める代わりに、その農民に直接年貢を納めさせる責任を負わせました。これが後の兵農分離を加速させ、江戸時代の幕藩体制の基礎となりました。
問5	答え 3 桃山文化	織田信長や豊臣秀吉が天下統一を進めた時代、戦国大名や都市の豪商たちの圧倒的な経済力と権力を象徴する形で発展しました。城郭建築や狩野永徳による金碧障壁画などがその代表例です。
問6	答え 4 禅宗は厳しい修行を重視したため当時の幕府や武士に受け入れられ、天正遣欧使節は宣教師の勧めにより西洋のキリスト教世界の状況を確認するために派遣された。	鎌倉時代に宋から伝わった禅宗（臨済宗や曹洞宗）は、自らの修行によって悟りを開こうとする姿勢が、当時の新興勢力であった武士の気風に合い、鎌倉幕府などの保護を受けました。また、天正遣欧使節は、戦国時代のキリシタン大名たちがイエズス会の宣教師ヴァリニャーノの勧めを受け、キリスト教世界の威容に触れるとともに、日本での布教への支援を求める目的などで派遣されました。選択肢にある念仏による救済は浄土宗などの特徴であり、鎖国や鉄砲購入、勘合貿易などはこれら二つの事柄の本来の背景とは異なります。
問7	答え 4 将軍の足利義昭を京都から追放し、室町幕府を滅亡させた。	室町幕府の滅亡は1573年の出来事であり、桶狭間の戦い（1560年）と楽市令（1577年）の間に位置します。長祿の戦いは1575年、本能寺の変は1582年の出来事です。信長の勢力拡大の過程において、将軍の追放は旧来の権威を否定し、天下統一を推し進める大きな転換点となりました。
問8	答え 3 天正遣欧使節	宣教師ヴァリニャーノの勧めにより、九州のキリシタン大名たちは伊東マンショら4人の少年をローマへ派遣しました。この使節団は、キリスト教の本山であるローマ教皇に謁見して日本の布教状況を報告するとともに、西洋の高度な文化や技術を日本に持ち帰る役割を果たしました。なお、後に伊達政宗が派遣したものは慶長遣欧使節と呼ばれます。
問9	答え 3 小田原を本拠地とする北条氏を滅ぼし、全国の諸大名を服従させた。	豊臣秀吉は、関白として天皇の権威を利用しながら各地の大名に停戦を命じました。これに従わなかった関東の北条氏を1590年に大軍で包囲して降伏させたことで、東北地方の諸大名も秀吉に恭順し、名実ともに全国統一が完了しました。
問10	答え 1 大西洋を南下して喜望峰を経由するルートにより、アジアとの直接貿易の道を開いた	ポルトガルは、アフリカ大陸南端の喜望峰を経由してインドへ至る東回り航路を重視しました。この航路はバスコ・ダ・ガマによって確立され、イスラム勢力やイタリアの都市国家が独占していた香辛料貿易にポルトガルが直接参入するきっかけとなりました。選択肢にあるアメリカ大陸への到達はスペインの支援を受けたコロンブス、世界周航はマゼランの艦隊による功績です。
問11	答え 3 戦国大名や豪商の豊かな経済力を反映し、城郭の内部を飾る金碧障壁画など、豪華で壮大な作品が多く生み出された。	天下統一へと向かうエネルギーに満ちた時代背景から、自らの権威を誇示するために姫路城のような巨大な天守を持つ城郭が築かれました。その内部は、狩野永徳らに代表される絵師によって、金箔をふんだんに使った濃彩色の障壁画で彩られました。これは、それまでの寺院を中心とした宗教的な文化とは異なり、現世の権力や富を肯定する世俗的で力強い性質を持っています。
問12	答え 3 ポルトガルなどとの南蛮貿易による利益を重視し、貿易船の来航は認めていたため	豊臣秀吉は、九州平定の際にキリスト教の広まりや宣教師が寺社を破壊している状況を目の当たりにし、バテレン追放令を出しました。しかし、同時に南蛮貿易による経済的利益や軍需品の入手を重視していたため、貿易船の来航は禁止しませんでした。貿易と布教を明確に切り離すことが困難であったため、結果としてキリスト教の禁止は不徹底なものととどまりました。
問13	答え 1 豊臣秀吉	織田信長の後を継いで全国統一を達成した人物です。大坂城を築いて政治の拠点とし、太閤検地や刀狩を通じて武士と農民の身分を明確に分ける「兵農分離」を推し進め、近世社会の基礎を築きました。